5	８番　　安　藤　　克　彦　　議員 ①　水産業の振興について 　本町の漁業は小型の和船での操業が中心で、メバルやモチウオ、イカやタコ、冬にはナマコや牡蠣など、直売所では季節ごとに様々な魚種に出会うことができる。 　一方、漁場である大村湾は環境の悪化により水揚げ量が減少している。また、漁業者の減少と高齢化は顕著で、後継者不足等も課題となっている。そこで以下の通り質問する。 （基盤整備） （１）海底耕うんや浮遊物除去、海岸清掃等への支援を行い、漁場や藻場の調査を行ってきているが、現状と今後の見通し、また新たな取組について伺う。 （２）長与川の舟津橋下流部分が土砂の堆積によりかなり浅くなっている。干潮時には蛇行しないと船の通行が難しく、ペーロン舟は櫂が川底にあたる状況である。対策はないのか伺う。 （つくり育てる漁業の推進） （３）稚魚の放流事業の実績と成果、課題を伺う。 （４）牡蠣養殖への支援策について伺う。 （５）漁業体験の取組について伺う。 ②　移住促進の取組について 　近年、人口減少に悩む市町村でお試し住宅という制度が増えてきた。お試し住宅とは、移住をする前にその町での生活を実際に体験するための自治体が準備した住宅で、２～３泊から１カ月程度、その自治体での日常生活を実際に体験してみることで、理想と現実のミスマッチを防ぐことを目的としているようだ。実際に生活体験してもらう中で、本町の魅力を発見してもらい定住人口の拡大に繋げるよい機会になると思う。制度導入への町の考えを伺う。